

問1 白河天皇が始めた政治の仕組みにおいて、天皇が位を譲った後に「上皇」として政治を行う体制を何と呼びますか。その名称と目的の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|--|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 院政 — 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため | 2. 摂関政治 — 天皇の外祖父として、幼い天皇に代わって政治を代行するため | 3. 公武合体 — 朝廷と幕府の結びつきを強め、国の政治を安定させるため | 4. 執権政治 — 将軍の補佐役として、鎌倉幕府の実権を独占するため |
|---------------------------------------|--|--------------------------------------|------------------------------------|

問2 平安時代中期、社会に不安が広がる中で「阿弥陀如来を信じれば死後に極楽浄土へ行ける」という教えが流行しました。この思想に基づき、藤原頼通が宇治に建立した、中央の堂の左右に翼を広げたような回廊を持つ建築物の名称と、その背景にある仏教の教えの組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2025年 群馬公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 1. 平等院鳳凰堂 — 浄土教 | 2. 中尊寺金色堂 — 浄土教 | 3. 平等院鳳凰堂 — 禅宗 | 4. 東大寺南大門 — 浄土教 |
|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|

問3 平安時代初期に最澄が行った活動の内容として、最も適切な説明を選びなさい。（2018年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 比叡山に延暦寺を建立し、法華経の教えを中心とする天台宗を広めた。 | 2. 高野山に金剛峯寺を建立し、密教の教えを重視する真言宗を広めた。 | 3. 念仏を唱えれば救われると説き、それまでの仏教を批判して浄土宗を開いた。 | 4. 宋での修行を終えて帰国し、坐禅によって悟りを開く禅宗の教えを広めた。 |
|-------------------------------------|------------------------------------|--|---------------------------------------|

問4 8世紀から9世紀にかけて、日本は帆を張った大型の木造船を用いて、200年以上にわたり中国へ使節団を派遣していました。この船には最澄や空海などの僧も乗り込み、最新の仏教や文化を日本に持ち帰りました。このような国際的な文化交流が行われていた時代に、国内では桓武天皇の命を受け、征夷大將軍として東北地方の蝦夷（えみし）との戦いを進めた人物は誰ですか。（2019年 愛知公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|--------|---------|---------|
| 1. 坂上田村麻呂 | 2. 卑弥呼 | 3. 藤原道長 | 4. 藤原頼通 |
|-----------|--------|---------|---------|

問5 平安時代中期、藤原氏は自身の娘を天皇の后（きさき）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで権力を維持しました。このように、天皇が幼少のときはその後見人として、成人した後は補佐役として、藤原氏が政治の実権を握った体制を何といいますか。（2022年 京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|-------|----------|
| 1. 摂関政治 | 2. 執権政治 | 3. 院政 | 4. 建武の新政 |
|---------|---------|-------|----------|

問6 歴史博物館の展示において、日本の原始・古代の締めくくりとして紹介される重要な出来事に「794年の遷都」があります。奈良の平城京から都を移し、現在の京都市にあたる平安京を築いた天皇は誰ですか。（2014年 愛媛公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖武天皇 | 2. 桓武天皇 | 3. 天智天皇 | 4. 推古天皇 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 平安時代の摂関政治が行われていた時期、地方政治の現場では大きな変化が起きていました。本来、地方の行政を担うべき国司が、任地に赴かず京都に留まったまま、その土地の収入のみを得るという形態が増加しました。このような国司のあり方を何と呼びますか。（2023年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 遙任 | 2. 受領 | 3. 地頭 | 4. 守護 |
|-------|-------|-------|-------|

問8 国風文化の時期には、かな文字の発達により優れた文学作品が多く書かれました。紀貫之らが天皇の命を受けて編纂した、日本で最初の勅撰和歌集（天皇の命令でまとめられた和歌集）は何ですか。（2022年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|-----------|----------|--------|
| 1. 万葉集 | 2. 新古今和歌集 | 3. 古今和歌集 | 4. 懐風藻 |
|--------|-----------|----------|--------|

問9 平安時代末期、武士として初めて太政大臣となり政治の実権を握った平清盛は、自身の経済的基盤を固めるために中国の王朝との貿易を推進しました。この時、貿易を円滑に行うために現在の神戸市に整備された港と、貿易の名称として正しい組み合わせを選びなさい。（2024年 石川公立入試 類似）

- | | | | |
|----------------|-------------|--------------|--------------|
| 1. 大輪田泊 — 日宋貿易 | 2. 堺 — 日明貿易 | 3. 那の津 — 遣唐使 | 4. 長崎 — 南蛮貿易 |
|----------------|-------------|--------------|--------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 院政 — 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため	白河天皇は、幼い皇子を天皇に据えつつ、自らは退位して自由な立場の上皇（院）となり、独自の役所を設けて政治を動かしました。これは、藤原氏が摂政や関白として政治に介入する余地を奪い、天皇の父や祖父が政治の主導権を取り戻すことを目的としていました。
問2	答え 1 平等院鳳凰堂 — 浄土教	藤原氏が摂関政治で権勢を誇った時代、末法思想（仏教の教えが衰えるという考え）の影響で、死後の救済を求める浄土教が貴族から民衆まで広く浸透しました。藤原頼通は、この極楽浄土の様子を地上に再現しようと、池を中心とした浄土庭園を備える平等院鳳凰堂を京都の宇治に建立しました。選択肢にある中尊寺金色堂は奥州藤原氏によるもの、東大寺南大門は鎌倉時代の建築です。
問3	答え 1 比叡山に延暦寺を建立し、法華經の教えを中心とする天台宗を広めた。	最澄は、奈良時代の政治に関わりすぎた仏教のあり方を反省し、山の中での修行を重んじました。近江国（現在の滋賀県）の比叡山を拠点とし、すべての人が仏になれるという法華經の教えを説いたことが天台宗の特徴です。空海が高野山で開いた真言宗と混同されやすいですが、開祖と拠点の山の組み合わせを正確に把握する必要があります。
問4	答え 1 坂上田村麻呂	当時の日本は遣唐使を派遣し、唐の進んだ制度や仏教文化を取り入れていました。最澄や空海が渡海したこの時代は、国内での中央集権化も進められていた時期にあたります。桓武天皇は国内の安定と勢力拡大を目指し、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命して東北地方へ派遣しました。彼は軍事的な成功を収めるだけでなく、現地の支配を安定させるための拠点作りを担いました。
問5	答え 1 摂関政治	藤原氏は、天皇が幼少のときに置かれる「摂政」と、成人した後に置かれる「関白」という重要な役職を独占することで政治を動かしました。この二つの役職の名称から、この政治体制は摂関政治と呼ばれます。藤原道長やその子である頼通の時期に全盛期を迎えました。
問6	答え 2 桓武天皇	奈良時代末期の政治の乱れを立て直すために、784年の長岡京遷都に続き、794年に山背国の平安京へと都を移しました。この遷都から鎌倉幕府が成立するまでの約400年が平安時代と呼ばれます。聖武天皇は奈良時代の平城京で大仏を建立した天皇であるため、混同に注意が必要です。
問7	答え 1 遙任	平安時代中期、貴族が摂関政治を通じて権力を握る一方で、地方の統治を任された国司の中には、任国へ行かず代理人を派遣し、自らは京都で生活を送る者が現れました。これを遙任と呼びます。これにより地方政治の監視が不十分になり、現地の有力者が勢力を強めるなど、統治の混乱を招く一因となりました。
問8	答え 3 古今和歌集	紀貫之らは、漢字を簡略化して作られた「かな文字」を用いることで、日本人の繊細な感情を和歌として表現しました。こうしてまとめられた『古今和歌集』は、その後の日本文学における和歌の地位を決定づける重要な作品となりました。
問9	答え 1 大輪田泊 — 日宋貿易	平清盛は瀬戸内海の制海権を確保し、中国の宋（北宋・南宋）との貿易を積極的に行いました。大型の船が安全に入港できるよう、現在の神戸市兵庫区にあたる大輪田泊を大規模に修築しましたが、当時の記録にも残されています。この貿易によって宋銭などが日本に流入し、貨幣経済の普及にもつながりました。